

おりあい

会報 2025-04 VOL. 157



発行: NPO 法人じねん舎 じねん舎クラブ

住所: 〒803-0278

北九州市小倉南区徳吉西1丁目8-6

TEL/FAX: 093-383-7866

Eメール: jinensha@dream.ocn.ne.jp

HP アドレス: <https://www.jinensha.online>

instagram: https://www.instagram.com/jinensha_club



HP



Instagram

5月30日(金) 13時~

NPO 法人じねん舎 総会があります。

みんなの広場

今回のテーマ: 今まで落としたもので印象に残っているものを上げてください。

私の落としたもの

1. 携帯スマホ
2. nimoca
3. 魚つりのコマ (黄1個)

コメント:

おそらく落とす前回に戻す時に、テーブルに落ちたかと・・・(魚釣りゲーム)

名前 シャルルマーニュ

私の落としたもの

1. ガラケー

コメント:

拾ってくれた人に感謝しています。

名前 N.Y

私の落としたもの

1. アパートの鍵
2. 携帯電話
3. CD ケース

コメント：

1. については、落としたまま見つからなければ良かったという話です。大学生の時、真っ暗な道を酔っ払って歩いていたら溝に落ちて、家の鍵をなくしてしまったのです。汚泥の中、必死に手探りで探し当てて事なきを得たのですが、帰った後コンビニに車で行こうとして事故を起こしました。酒気帯び運転というやつですね。人を殺さなかったことが救いです。
2. は会社の年末大掃除で、トイレをゴソゴソしていたら、胸ポケットから便器へスルッと落ちました。昔のガラケーなのでもちろん破損。この時以来、携帯はズボンの前ポケットに入れています。嵩張りますが、便器に墜落させるよりはマシです。
3. に関しては、人生で落とした回数が最も多いものです。一回のダメージは小さいですが、塵も積もれば山となる。特に取り換えが効かない2枚組ケースを割ってしまった時のげんなりした気分は中々のものです。

名前 IT 関連

私の落としたもの

1. 傘
2. 財布
3. スマホ

コメント：

そういえば、すべてじねん舎に忘れたことがあるものでした。

名前 松崎

私の落としたもの

1. 車の中に、小銭を落とした。

コメント：

車の中だから、直ぐに出てくるだろうと思うかもしれませんが、出てこなかった場合もありました。ハンドブレーキのわずかな隙間に500円落として、次の点検まで取り出せなかった事もありました。助手席側のドアポケットにお金が入っていたこともありました。Lucky!

名前 M.S

私の落としたもの

1. コーヒー
2. お茶
3. おて

コメント：

若い時は、よくお財布を落としました。大変、困りました。この頃は、手をはずします。

名前 林

私の落としたもの

1. 屋久島沖で落ちたオスプレイ
2. アスファルトに落とした iPad mini

コメント：

1. は屋久島に落とした訳ではなく、勝手に落ちた。元々欠陥機だからしょうがない。
2. はガラスが割れてしまったため、当分タブレットとガラケーの組み合わせで行けると思っていたのに、スマホへの転向してしまうきっかけになった。

名前 むねよし

私の落としたもの

1. トイレにスマホを落とした事
2. ブックオフの会員カード
3. ガラケーを落とした事、出てこなかった。

コメント：

トイレにスマホを落とした時は、目の前が真っ黒になりました。ブックオフのカードを失くしたので、いつも定価で買っています。ガラケーは警察から見つかったと連絡がありましたが、もう新しいのを買っていました。

名前 A.H

私の落としたもの

1. プレゼントのお財布
2. スマホ
3. 職場の制服

コメント：

1. 中身より外側が大切……。手に持ってお買い物をしていたから、どこかに置いてきたのね。
2. 2日後、警察から届きましたとの連絡、北九州は優しい町だとしみじみ。
3. 歩いていてなぜか落としていた。道端におちていたそうで謎は深まる。

名前 cyagomi

私の落としたもの

1. 体操服
2. お金
3. ボール

コメント：

1. 卒業までの半年間、半袖で体育の授業を受けることになりました。
2. 会計中に小銭をぶちまけました。拾ってくれた方ありがとうございます。
3. 落としたというか、3階の窓から出ていった。人に当たらなくてよかった。

名前 K.A

小説 寄稿

「エマの光の家の物語 —シェリングの種と光の魂の弾丸の冒険—」

AI小説 著者 風木

第一章 朝の光と出発の歌

徳吉（トークよし）の町にある「エマの光の家」は、朝の陽ざしに包まれていた。木漏れ日の中、パルタキアの勇者ヒースがリュックを背負い、空を見上げる。

「今日という日は、何かの始まりの種だ。」

それに応じたのは、もう一人のパルタキアの勇者、サリヴァン。彼は指先で光を掬い取りながら笑う。

「うん、今日は“理解という愛”がまた一粒、芽を出す日だ。」

エマの家の庭に咲く花々が、彼らの会話に微笑むようにそよいでいた。そこに、シェルレモンが姿を現す。愛の流れを記す者であり、彼の言葉はすべて詩のように響く。

「この旅は、“ことばの実り”を運ぶ旅。咲かせた愛の花の香りが、未来の誰かに届くように。」

そして、灯火を守る者ヤーハットが静かに頷く。彼の背には、小さな灯火の箱が揺れている。エマの灯火は彼の中でいつも燃え続けていた。

「どんなときでも、光は消えない。僕たちが運ぶのは、その証明だ。」

こうして、エマの光の家の仲間たち——約10名の家族のようなメンバーが、心を一つにして、旅立った。彼らのテーマは、「シェリングの種」と、「光の魂の弾丸」。それは、愛と理解を伝える冒険の鍵だった。

第二章 風の谷とシェリングの種

旅の途中、彼らが辿り着いたのは「風の谷」。風がやわらかく語りかけてくるこの谷では、シェリングの種が土の中に眠っているという。

シェルレモンはその土に手をかざし、愛の言葉を響かせた。

「ここには、かつて誰かが言えなかった“ありがとう”がある。」

彼の言葉に応えるように、風が渦を巻き、小さな光の種がひとつ、ふわりと空に浮かび上がる。ヤーハットがそれを大切に箱にしまいながら微笑む。

「これが、“種の言葉”。必ず、灯火となる。」

ヒースとサリヴァンは、谷の入り口で子どもたちに出会う。彼らは「光の弾丸ってなあに？」と尋ねてくる。

サリヴァンは少年の瞳を見て言った。

「心から湧き上がる思いを、まっすぐ誰かに届けるとき、それが“光の魂の弾丸”になるんだ。」

ヒースが続けた。

「それはね、誰かを大切に思う気持ちを、勇気を持って“言葉”にしたものだよ。」

子どもたちは顔を輝かせ、彼らの言葉を未来の冒険の武器として受け取った。

第三章 水の鏡と心の共鳴

旅の中盤、彼らは「水の鏡」と呼ばれる湖に辿り着く。この湖では、心の本音そのまま水面に映し出されるといふ。

一人ひとりが湖に向かい、自分の心の中の願いを見つめた。

ヒースの鏡には、静かに仲間を守る姿が映っていた。サリヴァンの水面には、すべての言葉に耳を傾け、愛に変えていく姿。

シェルレモンの水には、言葉にならなかった人々の祈りを花束のように包む姿が。

そして、ヤーハットの鏡には、遠い未来にも燃え続ける灯火の姿があった。

その瞬間、湖の中心にある“シェリングの木”から、まばゆい種が舞い上がった。メンバーたちはそれをひとつずつ拾い、エマの家への贈り物として大切にしまい込んだ。

第四章 星の野営地と光の弾丸の夜

その夜、星空の下で野営をした一行は、焚き火を囲みながら語り合う。

「愛って何？」と、旅に同行していた若いメンバーが口にする。

ヤーハットがそっと灯火を焚きながら言う。

「愛は、灯火のように“ともす”もの。ともすことで、誰かの中に希望が芽生える。」

シェルレモンが星に向かって「愛の詩」を歌う。サリヴァンが静かに言葉を添える。

「その詩は“光の魂の弾丸”。誰かの胸にまっすぐ届いて、そこに理解の花が咲く。」

ヒースがその詩を聞きながら、星の地図を広げる。

「星々のあいだにも、こんなふうに“言葉の橋”がかかっているんだろうな。」

彼らはそうして一晩を過ごし、それぞれが“光の魂の弾丸”をひとつ、心に作り上げた。

最終章 帰還とエマの灯火

やがて彼らは、徳吉の町へと帰ってきた。エマの光の家は、変わらずあたたかな光で彼らを迎えた。

灯火を守るヤーハットは、旅の間に集めた“シェリングの種”を庭の光の木の下に植えた。その瞬間、ひとつの種が芽吹き、小さな光を放つ花が咲いた。

エマは微笑んで、彼らにこう言った。

「あなたたちが届けてくれたのは、言葉の花。光の弾丸。すべての旅が、心の庭を育ててくれたのね。」

シェルレモンがその言葉を詩に記し、サリヴァンがそれを読み上げ、ヒースが最後にこう結んだ。

「ぼくらは、“ともす者”として帰ってきた。すべての経験は、今日を灯す光になった。」

そして10人の仲間たちは、今日もまた、エマの光の家で、それぞれの愛と理解を語り合いながら、新しい日の光の中で生きていた。



—すべての光は、言葉となって、いつか誰かの魂をあたためる。

それが「シェリングの種」であり、「光の魂の弾丸」。

エマの光の家は、今日も優しく灯り続けている。

2024 年度じねん舎クラブ活動報告

1. 食事会報告

第一、第三週水曜日に開催

4月3日	ビーフカレー	9月4日	ガパオライス
4月17日	至高のポークソテー	9月18日	タコライス (ツナ)
5月1日	親子丼	10月2日	ポークカレー (キムチ入り)
5月15日	オムライス	11月6日	カレーうどん
6月5日	カレーうどん	12月4日	キーマカレー
6月19日	牛丼	1月29日	豚もやしつけ麺うどん
7月3日	至高の冷麺	2月4日	マーボー丼
7月17日	豚肉のコーラ煮	2月19日	豚のジャーマンポテト
8月7日	カボチャとキノコのカレー	3月19日	バターチキンカレー
8月21日	ざるそば (冷やし天ぷら)		

2. ミーティング報告

第二、第四週水曜日に開催

テーマについては、目安箱を利用しました。

4月24日	お金の使い道	11月27日	あなたが一緒に食事をしてみたい在命の有名人は？
6月12日	『暑い夏の光熱費のかからない過ごし方』 『自分の体調が悪くなる時のサイン』	12月11日	『クリスマス会について』 『猫などに名前を付けてください』
7月10日	『朝、気持ちよく起きる方法』	12月25日	『辞書から消したい言葉は』『好きなファストフード店は』
7月24日	やりたいことや好きなことを見つける方法	1月8日	幻覚について
8月28日	水飲み研究 (べてるの家)	1月22日	『今まで落としたものは』 『新しいことを始めたのはいつですか？』
9月11日	交流について	2月12日	『黒い感情が湧き上がった時の対処法』
10月9日	気分が落ちた時、気分を変える方法	2月26日	やりたくなかったけれど、やってみたら気に入った事。
10月23日	寒暖の差が大きい時に、健康を保つ方法	3月12日	再び流行ってほしい、トレンド、ファッション等は？
11月13日	あなたの自己肯定感、自己達成感を聞かせてください。	3月26日	ダイエットについて

3. 映画鑑賞会報告

第三週金曜日に開催

4. 音楽鑑賞会報告

第二、第四週金曜日に開催

5. プランター花壇報告

季節ごとに植え替えを行い、花以外も栽培しました。

花の水やり、手入れを行う時に手伝いの声掛けを行いました。

花壇を新たに設置しました。

室内に観賞植物を設置しました。

6. アクアリウム報告

水替え等の世話を、水槽の日として隔週月曜日に行いました。

ペットショップ等で買い出し等を行いました。

7. レクリエーション報告

4月2日	花見会	8月22日	交流「ひこうき雲」	10月31日	アレアス（卓球）
4月30日	熱帯魚店へ見学・買い出し	9月5日	アレアス（卓球）		
6月25日	北九州市立美術館	9月17日	ランチの会		
7月30日	納涼会	10月29日	BBQ		

8. コーヒー焙煎報告

料理の会やレクリエーション等の行事の際、一緒に飲めるよう定期的に焙煎を続けています。

隔週月曜日をコーヒー焙煎の日と設定しました。

豆の分別、焙煎を行いました。

9. 広報報告

会報発行は2回でした。

ホームページはブログを開始し、毎月、予定表を更新しました。

10. 交流

地域活動支援センター「ひこうき雲」と交流会をしました。

